

焼却施設の維持管理状況の情報

(1) 処分した産業廃棄物の各月ごとの種類及び数量

種類	平成31年			令和元年						令和2年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月(※)	1月	2月	3月	
汚泥	300.57	231.71	176.51	185.81	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				894.60
廃プラスチック類	96.15	95.04	104.50	77.56	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				373.25
動植物性残渣	0.00	7.27	22.79	45.62	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				75.68
廃油	17.02	17.24	10.15	18.84	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				63.25
燃え殻	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				0.08
合計	413.74	351.26	314.03	327.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				1,406.86

※ 焼却炉の不具合により7月23日以降、焼却物の受入を中止し様々な対策を検討してきましたが、設置から37年が経過して老朽化が進んでおり、効果的な改善策を見いだせないことから、焼却炉を廃止することとしました。

(2) 測定に関する事項

項目	内容等	
燃焼室中の燃焼ガス温度	測定位置	焼却炉内(※)
	測定日	稼働中毎日(連続測定、記録)
	測定結果	記録紙を設置場所にて閲覧
集じん器内で冷却された燃焼ガス温度	測定位置	湿式サイクロン出口(※)
	測定日	稼働中毎日(連続測定、記録)
	測定結果	記録紙を設置場所にて閲覧
排ガス中の一酸化炭素濃度	測定位置	吸引ファンと煙突間(※)
	測定日	稼働中毎日(連続測定、記録)
	測定結果	記録紙を設置場所にて閲覧

(※)「焼却施設の測定場所」参照

(3) 冷却設備及び排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去を行った年月日
稼働中毎日

(4) 煙突から排出される排ガスの測定に関する事項

測定項目	測定日	令和元年度							基準値		
		平成31年		令和元年				令和2年			
		結果が得られた日	4月11日	4月11日	6月27日	(※)					基準値
ばいじん量	g/Nm ³	0.018		0.031						0.06	協定、大気汚染防止法
硫黄酸化物	濃度	ppm	<5	-						180	協定
	排出量	Nm ³ /時	<0.026	-						3	"
窒素酸化物	濃度	ppm	84	78						180	協定、大気汚染防止法
	排出量	Nm ³ /時	0.46	0.47						3	"
塩化水素濃度	mg/Nm ³	8.5		-						80	協定
ダイオキシン類	ng-TEQ/Nm ³	-	0.34	-						0.5	"
カドミウム濃度	mg/Nm ³	<0.01		-						1	県公害防止条例
鉛濃度	mg/Nm ³	<0.1		-						10	"
ふっ素濃度	mg/Nm ³	<1.0		-						10	"
塩素濃度	mg/Nm ³	<1.3		-						30	"
水銀濃度	μg/Nm ³	0.073		-						50	大気汚染防止法

※ 焼却炉の不具合により7月23日以降、焼却物の受入を中止し様々な対策を検討してきましたが、設置から37年が経過して老朽化が進んでおり、効果的な改善策を見いだせないことから、焼却炉を廃止することとしました。

(5) 燃料タンク内における燃料油の硫黄含有率

		測定日	令和元年度		基準値	
			平成31年	令和元年		
測定項目		結果が得られた日	4月1日		基準値	法規制・協定
燃料油の硫黄含有量	A重油	%	0.057		0.8	協定
	C重油	%	0.33		0.8	〃